

3. 1 1 復興「祈りの丘」プロジェクト（仮称）

企画趣意書案

場所 宮城県石巻市

期間 仮／平成25年3月～平成29年3月

○はじめに

東日本大震災から早1年と半年が過ぎました。被災した地域も復旧から復興への過程に進んでいると考えています。

震災という暗い言葉から、未来への歩みと変化させる為にも、震災で亡くなった方々、見送った方々の心を慰霊、鎮魂できるシンボルが必要だという思いが生まれました。

最大の被災地でもあり、三陸ジオパーク構想などにも含まれるように、歴史、文化、観光等をふまえた未来の復興モデル都市をめざす石巻に、慰霊平和パーク構想が石巻市、宮城県、そして国の共同事業として始まりました。

時を前後し、宮城県の民間の方々を中心とした「3. 1 1 復興モニュメント設立プロジェクト」が起こされ官民一体の復興平和パーク作りが始められようとしています。

○企画の背景

平成24年3月～5月、国立京都国際会館において cop31 5周年にちなみこれからの自然と人間の生活をテーマとして「武藤順九の宇宙展」及び各ジャンルのの方々によるシンポジウム「光、水、風フォーラム」が企画され、「光、水、風実行委員会（委員長 尾池和夫）」が発足しました。

その折、すでに東日本大震災3. 1 1 慰霊モニュメント準備委員会（事務局 仙台）よりモニュメント制作を依頼されていた武藤順九氏がイメージモデルを制作、京都から世界に向けて展示、発表されましたが、全国のマスコミを始め多くの方々の賛同を得ることができました。

このような背景の基に、宮城県の方々を中心として仙台にて同準備委員会を核に「3. 1 1 復興モニュメント設置実行委員会」の設立がすすめられており、来る平成25年3月11日を目度に正式に発表されるはこびとなりました。

○企画の概要

このような願いを広く全国に訴えたいという被災地の方々の思いを受け、復興を願う多くの団体、多くの方々との連帯をはかりながら、再び京都から全国に呼びかけて行きたいと思えます。

具体的には、3. 1 1 復興モニュメント設置実行委員会との連帯を軸に、石巻市、宮城県、国との官民一体のスタンスで慰霊平和パークプロジェクトに参加するなかで、募金を通して人々の思い願いを後世まで伝えることのできる場として仮称「祈りの丘」（モニュメント設置の丘、ガレキ利用）、慰霊の森植樹、祈りの庭等のプロジェクトを立ち上げ明確な募金活動となることを目指します。

○活動体制

当プロジェクト実現の為、政治、宗教、人種等を超えた実行委員会を京都市内に設立するために、各関連団体、行政と連帯しながら多くの方々の賛同をつのっていきたいと思います。

つきましては、プロジェクト推進に際し、御賛同を賜りたく、ここにお願い少々御依頼申し上げます。

仮称 3.11復興「祈りの丘」プロジェクト
準備委員会
代表